

明石市における心理職活用の実際と 公認心理師の可能性

いずみ

泉

ふさ ほ

房穂

明石市長・弁護士・社会福祉士

今日の講演の流れ

- 一 自己紹介
～私と心理職との関わり～
- 二 明石市における心理職の活躍
- 三 専門職としての心理職への期待
- 四 学生へのメッセージ



一 自己紹介

泉 房穂(いずみ ふさほ)



- 1963年 明石生まれ
- 弁護士
- 社会福祉士
- (一財) 日本心理研修センター 評議員
- 播磨社会復帰促進センター 初代篤志面接委員
- 元衆議院議員
- 元NHKディレクター
- 2011年より明石市長 (現在2期目)
- 柔道3段、手話検定2級、明石タコ検定初代達人

私と心理職との関わり

①大学時代

教育学部で哲学を専攻し、**教育心理学**も学ぶ

②弁護士時代

町弁として、**少年事件**に数多く携わる

③国会議員時代

2 資格 1 法案が議論された時代

④社会福祉士・弁護士時代

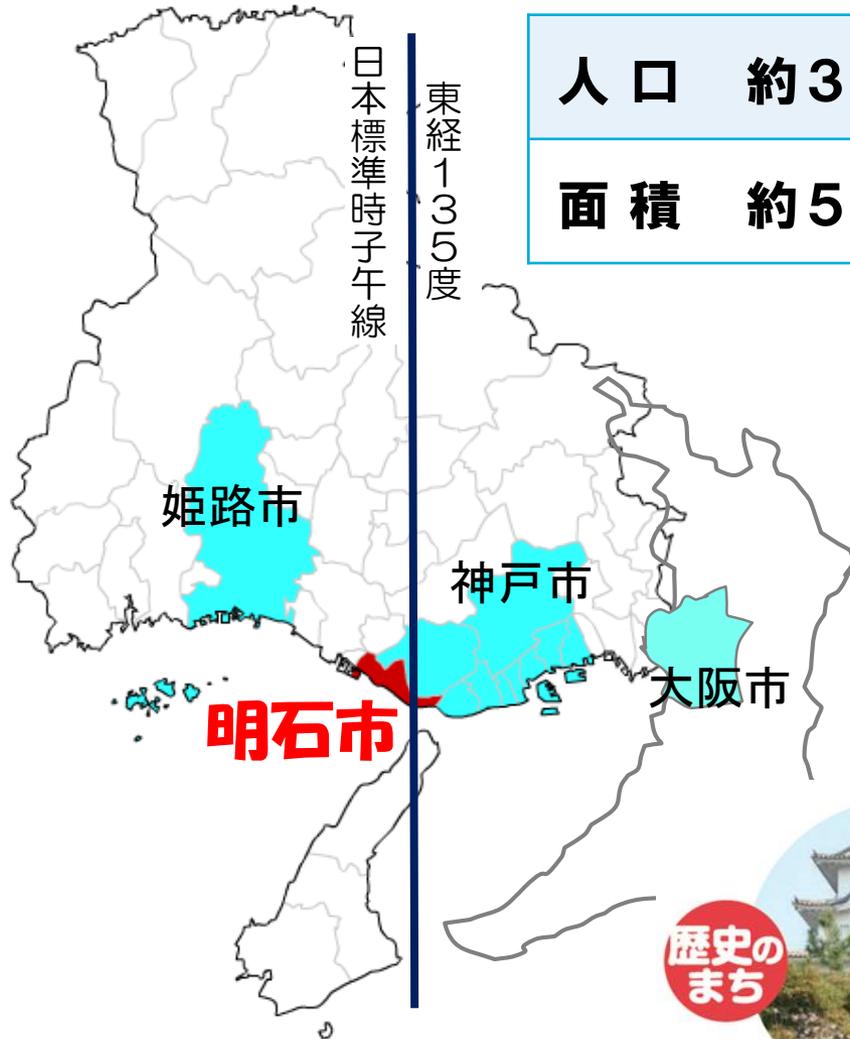
更生支援の活動 播磨社会復帰促進センターなど

…そして、市長に



二 明石市における心理職の活躍

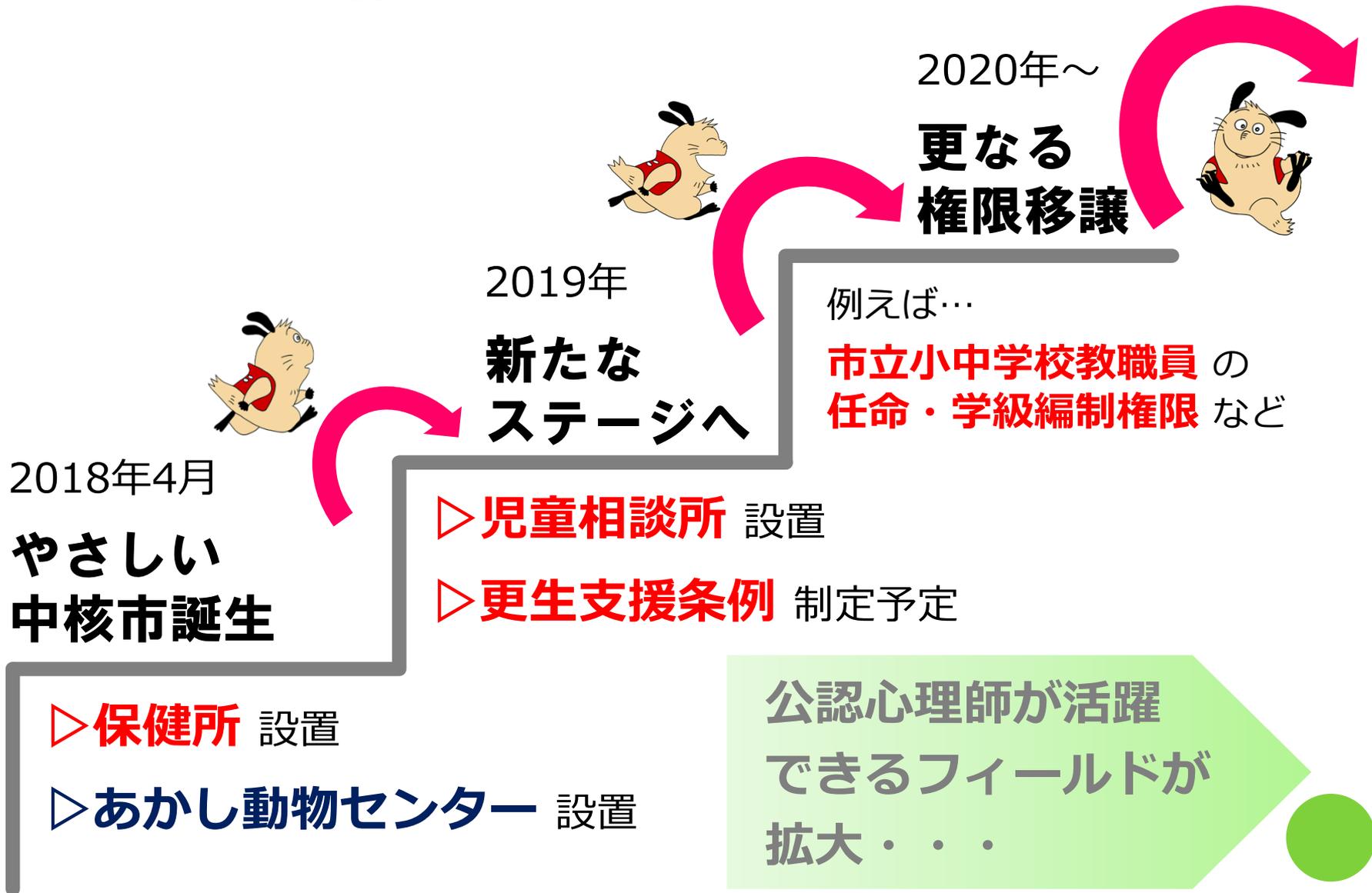
明石市の紹介



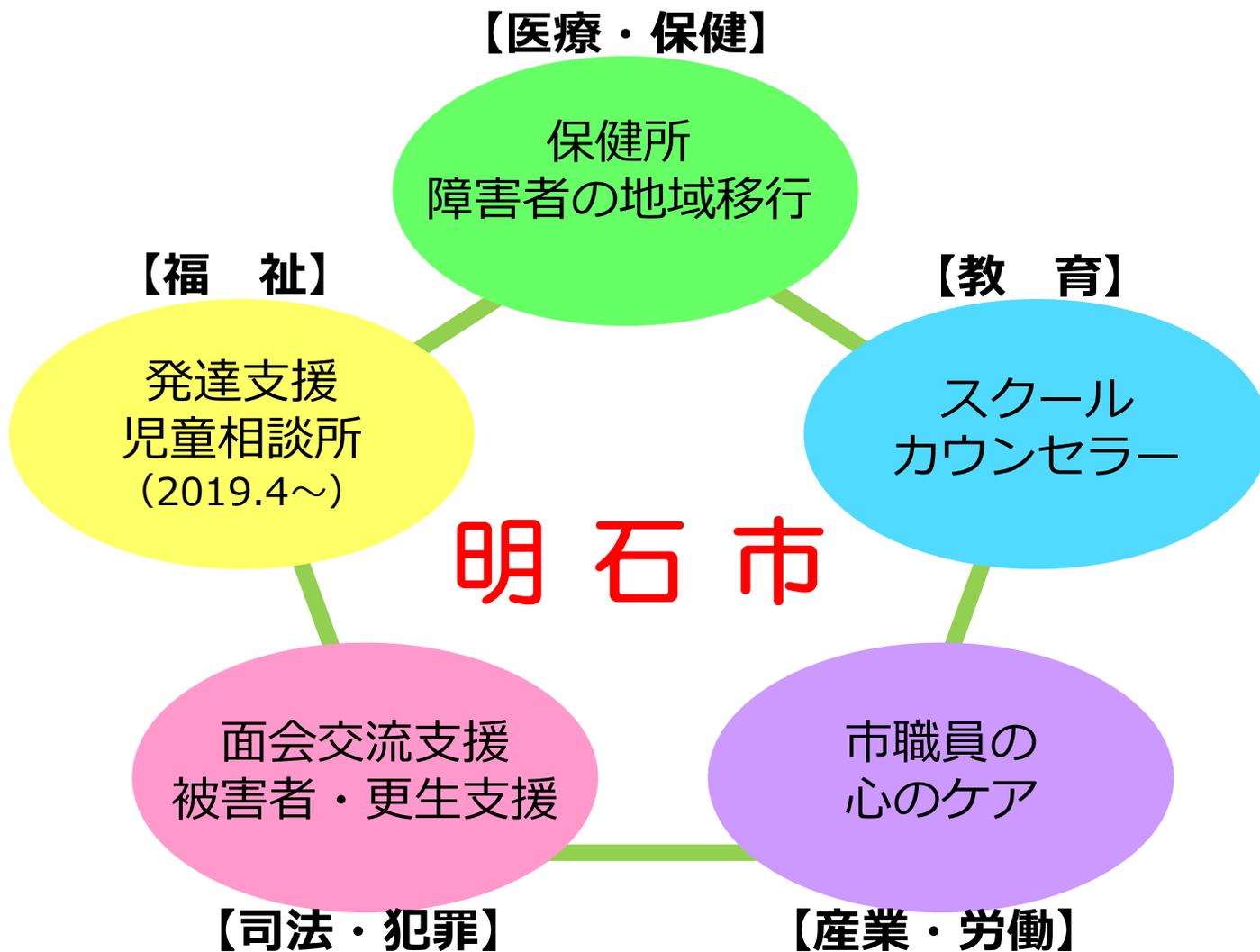
人口	約30万人
面積	約50km ²



明石市の紹介



心理職の活躍フィールド



明石市における活躍の例①

【教育】スクールカウンセラー

◆役職・位置づけ

- これまでは、5年間の任期付職員だったが、今年度から、**福祉職の正規職員**に（任期なし）
- 教育委員会事務局 児童生徒支援課に、係長として配属

◆担当業務

- 支援が必要な児童・保護者との**継続的な面談**
- 現場の**教職員への助言**
（校内ケース検討会議への参加）等々・・・

明石市における活躍の例②

【福祉】発達障害者支援



◆役職・位置づけ

- **福祉職の正規職員**（任期なし）
- 明石市立 **発達支援センター** に、係長として配属

◆担当業務

- **ライフステージを通じた** 継続的な **支援**
（相談支援・発達支援・就労支援）
- 支援機関への **巡回相談**、
関係者支援会議の開催 等々 . . .

明石市における活躍の例③

【司法】離婚後の面会交流支援

◆役職・位置づけ

○非常勤嘱託職員として、**面会交流の実施に
合わせて勤務**（月3～4回程度）

◆担当業務

○面会交流の**事前面談、
コーディネート、当日の立ち会い**
○ひとり親家庭総合相談会での
離婚後の子育てガイダンス 等

別居・離婚を経験した親子のために…
明石市に住む子どもを交えます

※面会交流…子どもと離れて暮らしているお父さん
やお母さんが子どもと会って話をしたり一緒に遊ん
だりして交流することです

面会交流を サポートします!

今さら連絡
とりにくいなあ

お父さん
お母さん

交流日程の連絡調整を
サポートします

※経費豊富なス
タッフがお手伝い
します

交流当日はスタッフ
がお子様を引き
合わせます

よかったね～

楽しんで

多くの子どもは、父親にも母親にも愛され
たいと願っています。面会交流は、
その願いに応えるチャンスです。

※子ども・父・母の同意を確認したうえで、面会交流の支援を始めます

お申し込み・
お問い合わせ

明石市政策部 市民相談室
電話：078-918-5002 FAX：078-918-5102
メールアドレス：soudan@city.akashi.lg.jp

三 専門職としての心理職への期待

現代の自治体を取り巻く現状

- ・ **国からの権限移譲**

- ▷ 自治体の自己決定の場が増加

- ・ **市民ニーズの多様化・複雑化**

- ▷ 高い専門性が必要

重要施策の推進・市民サービス向上のためには…

専門職の活用が不可欠



明石市で働く専門職員 (H30. 4時点)

弁護士：7名

社会福祉士：8名

臨床心理士：4名

精神保健福祉士：5名

手話通訳士：2名

その他福祉職：5名

その他専門職：3名

計 32名

※複数資格保有者あり

各専門職団体の協力を得て、**全国から公募**

明石での活動実績

- ▷ いじめ総合相談窓口開設
- ▷ 障害者支援
- ▷ 離婚前後のこども養育支援
- ▷ 無戸籍者支援
- ▷ 犯罪被害者等支援
- ▷ 更生支援（再犯防止）

**様々な場面で、
それぞれの専門性をいかして活躍中**



明石市の専門職採用の特徴

- **常勤の正規職員である**（任期は5年、一部は任期なし）
 - ▷ 緊急的な支援が必要な時に、すぐに動ける
 - ▷ 継続的な支援が可能
- **職種ごとに一人ではなく、複数採用**
 - ▷ 個人の考えだけを正解としない
 - ▷ 互いに情報・意見交換しながら成長
- **一般行政職の仕事もする**
 - ▷ 普段から市民ニーズや地域課題を共有
 - ▷ 庁内外との信頼関係を構築



専門職活用の意義

① チームアプローチ

▷ 他職種や行政職との連携



② アウトリーチ

▷ 市民の枕元へ

③ ワンストップ

▷ 一体的な支援を



明石市で活躍する専門職員

発達支援センターでの具体的なケース

【主訴】 こどもの発達障害

→心理職が相談対応した結果、
世帯全体が抱えるいろいろな問題が明らかに



祖父母の介護

経済的困窮

親の精神疾患

…等々

▷社会福祉士や担当部署のケースワーカー等と
連携し、**チームアプローチ**で全体的な支援へ

学校現場での具体的なケース

いじめの相談

→まずは心理職が子どもから聞き取り

→問題解決に当たって、法的な論点が出てきた
場合には、スクールロイヤーに相談

すぐに弁護士に相談
できるので、安心感を
持って対応できる

心理職は学校外の立場として
関われるため、困りごとを
抱えた教職員が相談しやすい



専門職に求めること

- ① **高く** ▷ 専門性の向上
 社会情勢に即して
- ② **広く** ▷ 知識の幅を広げる
 人的ネットワーク
- ③ **強く** ▷ 専門職としての誇り
 社会的影響力の向上



四 学生へのメッセージ

市民・国民のため **“使命感”** を
持って現場に出る！



広く社会と関わりを持つ！



そのために必要なのは…

① やさしさ

▷ 想像力、真摯に聞く姿勢

② かしこさ

▷ 洞察力、本質を見抜く力

③ ほんの少しの強さ

▷ 責任感、諦めない勇気

